

2011年5月から7月の その他の活動

生野地協 卓球大会&バーベキュー



5月28日、東大阪朝鮮学校において行われる予定だった2011年の生野地域活動協議会ソフトボール大会は、雨天のため内容を卓球大会に変更して開催されました。雨がたくさん降り、運動場が水浸しになるほどでしたが、参加者は皆、とても熱心に卓球を楽しみました。国籍の違いをこえて仲良く卓球を楽しみ、良い気分になり、ちょうどお腹も空いてきたところで、引き続き学校の廊下でバーベキューを行いました。七輪で炭火を熾し、その上によく味付けされた肉、そして野菜を載せて、ご飯と一緒にみんなで美味しく食べました。大人にとっても子どもにとっても、多文化共生を体験する良い機会になりました。

参加者は皆、とても熱心に卓球を楽しみました。国籍の違いをこえて仲良く卓球を楽しみ、良い気分になり、ちょうどお腹も空いてきたところで、引き続き学校の廊下でバーベキューを行いました。七輪で炭火を熾し、その上によく味付けされた肉、そして野菜を載せて、ご飯と一緒にみんなで美味しく食べました。大人にとっても子どもにとっても、多文化共生を体験する良い機会になりました。

ワークショップとなりのくにを知ろう



7月9日午後、杉並区立中央図書館で行われた親子対象のワークショップ「となりのくにを知ろう」で本会スタッフとリーダーが進行役を務めました。韓国について知るクイズ、かんたんな韓国語のあいさつ、昔話「ヘンニムタルリム(おひさまお月さま)」の読み聞かせ、かんたんな工作、チャング演奏の鑑賞と体験、韓国の童謡「ウリナラコッ」の合唱といった内容盛りだくさんの90分間で、とても暑い中でしたが、子どもたちはみんな元気いっぱい、いろいろな内容を大いに楽しんでいました。

7月9日午後、杉並区立中央図書館で行われた親子対象のワークショップ「となりのくにを知ろう」で本会スタッフとリーダーが進行役を務めました。韓国について知るクイズ、かんたんな韓国語のあいさつ、昔話「ヘンニムタルリム(おひさまお月さま)」の読み聞かせ、かんたんな工作、チャング演奏の鑑賞と体験、韓国の童謡「ウリナラコッ」の合唱といった内容盛りだくさんの90分間で、とても暑い中でしたが、子どもたちはみんな元気いっぱい、いろいろな内容を大いに楽しんでいました。

日韓学生交流会 夕涼み会



今年度第1回目の日韓学生交流会が7月9日夜、YMCAで開催されました。今回、参加者は15名とこれまでに比べ多くありませんでしたが、日本語学校の留学生、ピビンパキャンプのリーダー、チャング教室のメンバーなど、日頃からYMCAの様々な活動に参加している日韓、在日の青年たちが一堂に会する貴重な機会となりました。ゲームなどの特別なプログラムは行いませんでしたが、美味しいサムギョブサル(豚の焼肉)とパッピンス(かき氷)をいただきながら、おしゃべりを楽しみ、あっという間に3時間が過ぎていきました。今後もこうした交流の機会を続け、再会することを約束して、おしまいに記念撮影をしました。

今年度第1回目の日韓学生交流会が7月9日夜、YMCAで開催されました。今回、参加者は15名とこれまでに比べ多くありませんでしたが、日本語学校の留学生、ピビンパキャンプのリーダー、チャング教室のメンバーなど、日頃からYMCAの様々な活動に参加している日韓、在日の青年たちが一堂に会する貴重な機会となりました。ゲームなどの特別なプログラムは行いませんでしたが、美味しいサムギョブサル(豚の焼肉)とパッピンス(かき氷)をいただきながら、おしゃべりを楽しみ、あっという間に3時間が過ぎていきました。今後もこうした交流の機会を続け、再会することを約束して、おしまいに記念撮影をしました。

KAKEHASHI かけはし 2011 July vol.4
 発行人: 金秀男 発行: 在日本韓国YMCAアジア青少年センター
 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-5-5
 TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633
 http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/
 ayc@ymcajapan.org



今後の予定 2011年7月~9月

東京韓国 YMCA 2011年夏の特別プログラム 参加者募集中

【子どもプログラム】

- 子ども韓国語教室 (小学生対象)
日時: 8月4日(木)~5日(金) 2日間
午前10時~午後1時
費用: 6,300円
- 中学生韓国語教室 (中学生対象)
日時: 8月3日(水)~5日(金) 3日間
午後2時30分~午後5時30分
費用: 9,450円
- ピビンパキャンプ (小中学生対象)
日程: 8月22日(月)~24日(水) 2泊3日
場所: 五日市青少年旅行村 (東京都あきる野市)
参加費: 小学生 24,150円、中学生 27,300円
※きょうだい参加割引あり
この夏、全国のYMCA キャンプに参加する東日本大震災被災地の子どもたちには、三菱商事株式会社より参加費を支援いただけることになりました(三菱商事キッズ・スカラシップ)。ピビンパキャンプにも、このたびの震災で被災した子どもたちを無料でご招待いたします。詳細は、国際文化部スタッフまでお問い合わせください (TEL 03-3233-0615)。

【文化教室プログラム】

- 池成子先生招請 民謡カヤム講習会
Aクラス 初心者、初級者対象
日時: 8月20日(土)~21日(日)
午前10時~午後1時(2日間)
参加費: 14,700円(カヤム教室受講生 12,600円)
※楽器はYMCAの備品をお貸しいたします。
- Bクラス 経験者、中・上級者対象
日時: 8月19日(金)~21日(日)
午後2時半~午後5時半(3日間)
参加費: 22,050円(カヤム教室受講生 18,900円)

【韓国語講座】

- 韓国語能力試験対策(中級) 7月23日(土)~
- 違いがわかる韓国語 7月23日(土)~
- 目からウロコの韓国語講座 7月25日(月)~
- 韓国語能力試験対策(高級) 8月2日(火)~
- はじめてのハングル5日間 8月9日(火)~

全てのプログラムのお問合せ、お申込はYMCAまでどうぞ。
TEL 03-3233-0615 FAX 03-3233-0715 e-mail ayc@ymcajapan.org

【東京韓国 YMCA】

- 9/1(木) 関東大震災88周年追悼合同礼拝 (第217回教界指導者朝餐祈禱会)

【関西韓国 YMCA】

- 7/23(土)~24(日) 枚方サマースクール
- 7/27(水) つながりキャンプ
- 9/9(金) 第101回教界指導者早天祈禱会

＜編集後記＞

ボランティアの皆さんがいてこそ成り立つYの様々なプログラム。感謝します。(朴)
チャングのリズムに魅せられました。また見に行きたいです。(才)
なでこジャパンのように、みんなに笑顔と希望を与える仕事ができるよう努力します。暑い夏、皆さまお身体大切に。(た)
人生日々新た。なぜなら人生初携帯電話の今年の夏だから。(べ)
熱中症にお気をつけてお過ごし下さい。(AT)

『かけはし』次号は2011年10月発行予定です。

ツイッター @zainichiyca
より良い紙面づくりのために、ご意見・ご感想等お寄せください。



在日本韓国YMCA
アジア青少年センター
Korean YMCA in Japan
Asia Youth Center

かけはし

日本語ボランティアチューターに参加して

土方純子(YMCA韓国語講座 受講生)

私は、YMCAの韓国語講座に通い始めた年(5年前?)の夏休み、韓国の大学から日本語研修に来た大学生たちのための日本語ボランティアに初めて参加し、その後、日本語学校の学生たちのチューターをさせていただくようになりました。

語学を勉強している人は、勉強している言葉が話せるようになりたい、その国の人と話したいと思います。それは、日本語学校の学生たちも、語学講座に通う私たちも同じです。ボランティアというよりは、外国語を勉強する人同士、何か一緒にできることがあるかも…、そんな気持ちでチューターを始めました。

自分の言いたいことを日本語で一生涯懸命伝えようとする学生の話聞いて、日本語で受け答えるのですが、内容によっては、理解できなかったり、また、上手に説明してあげられず、絵を書いたり、ジェスチャーをしたり…、四苦八苦することも多いです。しかし、直接話をやり取りすることには、言葉だけではない伝え合えるものが多くあるように感じます。

初めての日本語ボランティアで、知り合った大学生の何人か(もう、社会人の人もいます)は、嬉しいことに、今も時々メールをくれます。体力が続く限り、これからもチューターを続けさせていただけたら幸いです。



韓国から来た研修生と土方さん(右端)

募金にご協力ください 「東日本大震災 YMCA 救援・復興募金」 未曾有の困難に祈りをもって立ち向かいましょう。
 窓口に持参または郵便振替で
 00190-4-539049 在日本韓国YMCA

聖書に聴く 第4回 李明生 牧師(日本福音ルーテル三鷹教会)

「揺ぎない希望を求めて」

あなたがたについてわたしたちが抱いている希望は揺るぎません。なぜなら、あなたがたが苦しみを共にしてくれているように、慰めをも共にしていると、わたしたちは知っているからです。(コリントの信徒への手紙二 1:7)

3.11の東北大震災から既に4ヶ月が過ぎました。しかし多くの被災地では、かつての日常を取り戻すことが、まだまだ遠い道のりの先にあるのが現実です。東京からわずか数百キロ、新幹線であれば数時間の距離しか離れていないにもかかわらず、全く異なる現実によって今この日本社会は分断されていると言えるのではないのでしょうか。

自分達が進む道筋の先が見えない時、私たち人間は不安を憶えずにはいられません。そしてまた、今直面している困難が他者から理解されない時、人の絆はいとも簡単に不信によって引き裂かれてしまいます。そしてこの不安と不信とは、やがて私たちを絶望へと追いやり、まさに今、日本社会は、不信と不安によって引き裂かれ、多くの人々

が絶望へと追いやられていると言えるでしょう。コリント教会はパウロによって創設された教会でしたが、様々な事情が重なり、その関係は引き裂かれてしまいました。けれどもパウロはいつの日にか主イエスによって和解が成り立つ希望を信じ、コリント教会に対して関わり続け、ついには信頼の絆を回復することが出来たのでした。

パウロは、コリント教会に宛てた手紙の中で「あなたがたについてわたしたちが抱いている希望は揺るぎません」と語ります。パウロの希望が揺るがなかった理由、それは「あなたがたが苦しみを共にしてくれているように、慰めをも共にしていると、わたしたちは知っているから」でした。パウロにとって、苦しみを分かち合うことこそ、慰めと励ましを分かち合うことであり、未来が見えないその不安と不信の中で、私たちを絶望から救い出す力の源だったのでした。

イエス・キリストが十字架によって世の人々の苦しみを分かち合い、そして死から甦られたように、私たちもまた他者の苦しみを分かち合う時、そこにこそ新しい命があるという揺るぎない希望を与えられるのです。

考える「かけはし」

第3回
会員である限り、その理念を伝える、広める使命があります。「かけはし」の復刊にあたり、YMCAそして在日本韓国YMCAについて、もう一度、知り、考えるきっかけになればと思います。第3回は在日本韓国YMCAのチャング教室について考えます。



【チャング(苧子)】
左手に持っているのがクングルチェ
右手に持っているのがヨルチェ

在日本韓国YMCAに滞在していると、どこからともなく、太鼓のような楽器の音色が独特のリズムで聞こえてくることがあります。それが朝鮮半島の伝統的な打楽器であるチャングです。イベント等では何となく見たことがありましたが、恥ずかしながらチャングについては何も知らなかったの、今回はそのチャングについて調べてみました。

◆チャングについて

チャング(苧子)別名チャンゴ(杖鼓/長鼓、장고)は砂時計型の胴の両面に違う種類の皮(羊、馬、牛、犬など)を張った打楽器です。先端に丸いものがついているクングルチェというパチ、竹でできたヨルチェというパチで演奏します。両側一つ一つが低音、高音になっています。教室を見学させてもらおうと、あぐらをかいてチャングを抱えて独特のリズムを演奏していました。上級者になると立って演奏し、舞台では衣装を着て、踊りながら演奏したりもします。韓国では極めて一般的な伝統的な楽器で、そもそもは五穀豊穡を祈る農楽に端を発するもので、日本占領下の朝鮮文化禁止時代においても一部許可され継承されてきました。日本では80年代に韓国伝統芸能グループ「サムルノリ」の公演によって、広く知られるようになりました。

◆在日本韓国YMCAのチャング教室

東京韓国YMCAでは1984年からチャング教室が続けられています。また関西韓国YMCAでも韓国民族芸術科のチャンゴクラスが開講されています。今では色々なところに教室があるそうですが、その元祖といっても過言ではありません。そもそもは舞踊家である卞仁子(ピョン・インジャ)先生が1979年に在日韓国YMCAで教室を始められ、韓国留学の後、東京韓国YMCAでも新たに始められました。現在東京では初心者から上級者まで5クラスが開講されています。民衆の間で伝承されてきたブンムルノリ(農楽)のリズム、そこから生まれたサムルノリのリズム、また中級・上級クラスではチャングのほかに、ケングアリ(鉦)、ブク(太鼓)、チン(銅鑼)を用いたサムルノリを学ぶことができます。

今回コラムを書くにあたって、卞仁子(ピョン・インジャ)先生、柳絢子(リュウ・スンジャ)先生にお話を聞く機会を得ました。受講する方たちは自国の文化を知り守るために習得しようとしているのだと勝手に思い込んでいたので、「やはり生徒さんたちは韓国人の方ですか」と質問すると意外な答えが返ってきました。現在、生徒さんの日本人と韓国人の割合は半々くらいだそうです。今や、日本での韓国への興味はドラマ、韓国語にとどまらず、その伝統文化にまで及んでいるということでしょうか。そういう流れも確かにあると思います。しかし、伝統芸能としての域を脱しない限りは、それは多文化社会において実際に習うまでのものにはならないはず。つまり、そのものが持つ本来の魅力というステージにまで浸透したということではないでしょうか。在日本韓国YMCAにおいてこのチャング教室があるのは、そもそもは伝統の継承という意味があったのですが、それが継承され、浸透していく中で、現在ではもはやそれだけの意義にはとどまらず、韓国の伝統という枠を超えて一つの芸術、音楽として人々が魅了され、集まっているのです。これは在日本韓国YMCAという場で使命を掲げ長く続けて来た結果であるともいえます。もちろん、そんな小難しいことではないのかもしれませんが、実際にその演奏を見聞きすると、その独特のリズムに新鮮かつどこか懐かしさをおぼえ、また楽器としての魅力も感じます。誰もが触れる機会さえあれば魅了されるものともいえるでしょう。「リズムが魅力的でかっこいい」それだけでいいのかもしれませんが、伝統文化の継承から、それが新鮮な文化として、魅力的なものとして受け入れられるようになる。いずれの国の人であれ、いずれの国のものであれ、かっこいいもの、そのリズムに魅せられて演奏する。よく音楽に国境はないと言いますが、それを体現すること、これも立派な文化交流という「かけはし」ではないか、そう感じました。(才)



【ブンムルノリ(풍물놀이)】



本文でも紹介された卞仁子先生の還暦記念公演が東京と大阪で行われます。

韓国伝統舞踊・音楽 卞仁子(ピョン・インジャ) 還暦記念公演 광풍제월 光風霽月

9月23日(金) 東京公演 日本橋劇場
夜公演 開場 17:00 開演 17:30
前売券 5500円 当日券 6000円 全席指定

9月25日(日) 大阪公演 山本能楽堂(地下鉄 谷町四丁目)
昼公演 開場 14:30 開演 15:00 夜公演 開場 18:30 開演 19:00
前売券 5000円 当日券 5500円 全席自由

2011年5月から7月のプログラム

在日本韓国YMCA 創立105周年記念礼拝・2011年度定期会員総会



韓国のYMCAの中では、ソウルYMCA(108年)に次いで長い105年の歴史を持つている在日本韓国YMCAは、それを記念し、5月21日に、創立105周年記念礼拝を行いました。礼拝では、朴憲郁牧師(東京神学大学 教授)が「新しい契約によって生きる道」と題して、1919年の2.8独立宣言に代表される先輩指導者たちの歩みを振り返り、将来において私たちが担うべき使命などをメッセージとして伝えました。礼拝の中では2010年と2011年に召天された洪其均第23代理事長と李鍾善第24代理事長を追慕する時間も設けられました。記念午餐会をはさみ、同日午後には2011年度東京韓国YMCA定期会員総会が行われました。長引く不況に加え、東日本大震災の影響で厳しかった一年間の事業や財政の報告、そして2011年度の事業計画や予算報告が行われ、新理事が選出されました。

総会後、2011年度東京韓国YMCA第1回理事会が行われ、裴重度理事が新たに代表理事に選出されました。関西韓国YMCAにおいても翌週の5月28日に定期会員総会と2011年度第1回理事会が行われ、新年度の事業計画、新体制が確認されました。

第3回オリーブ平和映画祭開催 ~『沈黙を破る』(土井敏邦監督)上映~



在日本韓国YMCAでは、創立100周年を迎えた2006年以降、パレスチナにある東エルサレムYMCAとの交流を進めていますが、私たちの仲間が暮らすパレスチナの現状を多くの人に知ってもらい、また東エルサレムYMCAのプログラム支援のための資金集めを目的として、2008年から東京センテニアルYサービスクラブとの共催で「オリーブ平和映画祭」を開催してきました。第3回目になる今年度の映画祭が、去る5月14日、YMCA9階ホールにおいて開催されました。過去2回の映画祭でのメイン上映作品は海外で制作されたドキュメンタリー映画でしたが、今回は日本人ビデオ・ジャーナリストである土井敏邦監督の作品「沈黙を破る」(2009年)が上映されました。

元イスラエル軍将兵たちが占領地で自らがやってきた加害行為の証言を中心に据え、イスラエルによるパレスチナ占領の実態を映し出したこの作品に、ご覧になった方の多くが強い衝撃を受けたようです。上映後のアンケートでは「事実の重さにうちのめされた」、「出てくる人々の言葉の重みがすごい」といった感想が寄せられました。

今回、メイン作品上映の前に、YMCAから毎年参加者を派遣している東エルサレムYMCAとパレスチナYWCAが合同で開催している「オリーブ収穫プログラム」のプロモーション映像も上映し、昨年同プログラムに参加した陣内幸代さん(東京センテニアルYサービスクラブ)が解説を加えてくださいました。また毎回行っているオリーブオイルの試食販売は今回もたいへん好評でした。



東日本大震災YMCA救援・復興募金への皆さまのご協力に感謝申し上げます。

東日本大震災発生直後より開始した東日本大震災YMCA救援・復興募金の在日本韓国YMCAでの第1期分(4月30日(土)締切り)募金額は



4月15日には日本語学校学生、会員、スタッフが水道橋駅周辺で街頭募金を行いました。

582,714円になりました。
皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。
日本全国のYMCAでは、盛岡YMCA、仙台YMCAが地元の教会や行政と協働して行なっている宮古市、仙台市内および宮城県沿岸地域での被災地支援活動に、連携して物資運搬やスタッフ・ボランティアの派遣等を行っています。
現在、第2期の募金を引き続き行っています。皆さまのさらなるご協力を重ねてお願い申し上げます。

募金方法

- 1) 会館内での受付
会館内の募金箱、またはYMCAスタッフまで直接ご持参ください。
- 2) 銀行振込
三菱東京UFJ銀行 神田支店 普通4707550
口座名 YMCAアジアセクションセンター
※振込者名の前に「キフ」または「KF」と入力してください。
- 3) 郵便振替
郵便振替口座 00190-4-539049
加入者名 在日本韓国YMCA
※「東日本大震災指定」とご明記ください。